二兎社…公演…30

作・演出 永井 愛

萩家の三姉妹

いざ、「萩家」へ

初演から三年。でも、9・11、アフガン、イラク攻撃を経て振り返る三年前は、遠い遠い、のどかな昔のようにも思えてきます。ここから、またあの「萩家」に戻れるんだろうかと心配していたところ、政界のオジサマたちから過激なエールが届きました。

「子どもをつくらなかった女性を税金で面倒見るのはおかしい」と、Mオジサマ。「集団レイプをする人は元気があるからいい。正常に近い」と、Oオジサマ。「いかにもしてくれって恰好の女性もいるじゃない。僕だって誘惑されちゃうぞ」と、Oオジサマ（およびレイプ犯）を弁護なさったFオジサマ。そして、セクハラで議員辞職なさった、もう一人のFオジサマ。ああ、「萩家の三姉妹」が生きた世界は健在です。これで一気に飛んで行けます。

さて、子どもを産まず、「国家に何の貢献もしない女」のまま、白髪頭になってしまった私。思うところあって、51の誕生日を機に白髪染めをやめたんですが、ここまでゴマ塩になっていたとは、我ながら驚きました。

それにも慣れ、会う人ごとに、「どうしたんだ」と聞かれる面倒な日々も過ぎ、もはや頭髪だけは自由を謳歌しているはずだったのに……「永井の頭はあのままでいいのか」という声があがったのです。

「これではもうロマンスも期待できない」「今後の仕事に差し障る」「せめて茶色にしろ」「いや、青がいい」など、まだまだ周りのやかましいこと！　私が男だったなら「アイツも老けたなぁ」だけで済むはずなのに、女の白髪は「若さ＝美」を放棄した印として、痛ましく感じる人も多いんでしょうね。いえ、褒めてくれる人だっているんですよ。「潔い」とか「勇気がある」とか。でもね、男だったら、たかが白髪でこんな褒められ方しないでしょ？　ここにも「萩家」に通じる入り口がありました。

ということで、公演中のロビーには、自力メッシュの私がウロウロしていることになりますが、あなたのご意見はいかがでしょう？

永井 愛

萩さんとこのお嬢さん方は、えれぇ、てんでに違うでねぇ・・・

時 2003年 10月 27日(月)
19:00開演（18:30開場）

所 福井市文化会館

主 催 ＝ NPO法人 福井芸術・文化フォーラム
共 催 ＝ ステージ・ふくい
後 援 ＝ 福井市教育委員会、(財)福井県文化振興事業団
福井新聞社、NHK福井放送局、FBC福井放送、福井テレビ、FM福井

●料金（税込み・全席指定）
S席＝ 5,500円［当日＝ 6,000円］
A席＝ 4,000円［当日＝ 4,500円］
学生（A席・当日のみ・要学生証）＝ 1,000円

●前売開始
フォーラムメイト先行＝9月1日(月)
一般・プレイガイド＝9月5日(金)

【チケット取扱い】
プレイガイド＝ベル、パリオcity、勝木書店本店
アルプラザ鯖江、アルプラザアミ、文化会館事務所
福井芸術・文化フォーラム

●お問い合わせ
NPO法人 福井芸術・文化フォーラム
（福井市文化会館右手会議室入口より入ってすぐ）
Tel. 0776-23-6905（月～金（祝日を除く）10:00～18:00）
※会館前の駐車場は台数に限りがありますので、周辺の駐車場をご利用ください。
※未就学児の入場はご遠慮ください。

◎福井芸術・文化フォーラム友の会「フォーラムメイト」入会募集中
年会費＝1,500円（入会から1年間有効）
特　典＝先行予約・割引価格・情報送付

出演

渡辺えり子

南谷朝子

岡本易代

片岡弘貴

大鷹明良

大西多摩恵

酒向 芳

藤 夏子

土屋良太

坂本岳大

小山萌子

杉山明子

スタッフ＝美術＝大田 創／照明＝齋藤茂男／音響＝市来邦比古／衣裳＝竹原典子
舞台監督＝澁谷壽久／宣伝美術＝マッチアンドカンパニー／宣伝写真＝今井智己
制作担当＝弘 雅美、安藤ゆか

永井 愛（劇作家・演出家／二兎社主宰）
●最近の作品＝「ゴロヴリョフ家の人々」「パートタイマー・秋子」「新・明暗」「日暮町風土記」「こんにちは、母さん」
紀伊國屋演劇賞個人賞・鶴屋南北戯曲賞・岸田國士戯曲賞・読売文学賞・秋元松代賞などを受賞
●エッセイ＝「中年まっさかり」